

みなとぴあボランティアレター 第47号

新潟市歴史博物館 みなとぴあ/2022.8

今回はイベント報告盛りだくさんです！

4/23 ボランティア総会

4月23日（土）にボランティア総会を行いました。今回は、23名の方にご参加いただき、去年の活動の振り返りや今年の活動予定について報告しました。振り返ると、新型コロナウイルスの影響でほとんどイベントが実施できませんでした。しかし、毎年3月に集計するアンケートにはボランティアで集まる場が必要であるという声も多く、また総会でもできるだけ多くのイベントを開催したいとの意見もありました。その一方で、未だ新型コロナウイルスの感染者が発生していることもあり、イベントの積極的な開催を不安視する声もありました。今後は、感染状況に鑑み、かつ十分な感染対策を行いながら各イベントを実施していきたいと考えています。



今年度上半期は、新型コロナウイルス感染者数が減少していたこともあり、市内施設見学などすでに多くのイベントを実施することができました。今後も各イベントの準備メンバーと協力しながら、様々な活動を展開していけたらと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

4～5月 新規ボランティア研修

4月30日（土）の新規ボランティア研修説明会を皮切りに新規ボランティア研修を実施しました。当初は2月より実施予定でしたが、新型コロナウイルス蔓延防止措置の発令があり、これまで延期していましたが、4月よりようやく実施することができました。今年度の新規ボランティアさんは16名。例年より人数も多く、高校生や大学生の方も居り年齢層も幅広いです。

各々、真剣にご参加いただき、研修後は積極的にご活動いただいています。これから仲良く楽しく活動していきましょう！



6/11 塔屋見学会

6月11日（土）に今年度最初の塔屋見学会を開催しました。天気は晴天、気温も涼しく過ごしやすいい日となりました。今回は13名のボランティアさんにご参加いただき、新規ボランティアさんにもご参加いただきました。久しぶりの塔屋を開放するということもあり、整理券配布前から旧新潟税関庁舎の前には多くの方に並んでいただき、数分で整理券の配布が終了してしまいました。嬉しい限りです。参加者には塔屋にいるボランティアガイドの説明を聞きながら、ゆっくりと敷地の風景を眺めていただきました。また、敷地ガイドも行い、敷地にある建物などの知識を深めていただきました。

この日は計62名の方にご参加いただき、イベントは大成功でした。今年度はあと1~2回実施できたらと思っています。



7/3 ステップアップ研修

7月3日（日）に今年度最初のステップアップ研修を実施し、28名の方にご参加いただきました。今回は今年度より館長に就任された坂井秀弥館長を講師に迎え、「私がみてきた遺跡と文化財」というタイトルでご講演いただきました。館長のこれまでの経験や文化財の重要性などについてお話いただき、特に山谷遺跡や古津八幡山遺跡といった市内の遺跡を調査・整備された話には熱心に耳を傾けている方が多くいらっしゃいました。また、土器の様相の変化や土器で調理した痕跡の話などもうかがい、土器をみる視点が変わったという方も多かったのではないのでしょうか。



参加された方からは、「これまで以上に新潟の歴史、文化財について学び続けようとの思いを強くしました」「全国・地域の歴史の体系的なとらえ方を聴くことができ、今後のガイドの方向を考えていきたいです」「これまで考古学・古代史はあまり興味がなかったですが、今回の研修でそのおもしろさに触れることができました」などといった感想を聞くことができました。次回のステップアップ研修は1月を予定しています。

7/16 市内施設見学 in 北区

7月16日(土)に市内施設見学 in 北区を実施しました。この企画は、市内にある歴史系博物館・資料館を見学することにより、市内の歴史的魅力を発見しようというものです。最初の見学地は、アンケートにより北区に決定しました。今回は、参加者22名で新潟市文書館と新潟市北区郷土博物館、そして同館開催中の企画展の内容を踏まえて、木崎小作争議関連の場所を巡りました。

最初に訪れたのは新潟市文書館です。令和4年1月に旧太田小学校の校舎を活用して開館した施設で、公文書等を保管し、市民に公開しています。今回は、施設内を見学し、文書館の利用方法を知るとともに、特別にバックヤードも見せていただきました。小学校を活用した施設ということで所々に小学校の趣が残っているところも面白いところです。給食を運ぶために使っていたエレベーターで資料を運搬するなど、小学校の設備を活用した運営が行われていました。また、6月4日まで開催していた企画展「文書館所蔵資料から見る水とのたたかい」も特別に見せていただき、『市史』などでみたことのある資料の実物もみることができました。バックヤードでは、資料の保管方法なども学ぶことができ、貴重な経験となりました。

次に訪れたのは、北区郷土博物館です。昭和43年に「豊栄町博物館」として開館し、常設展示では「阿賀北の大地と人々の暮らし」をテーマにするなど北区の歴史や文化が学べる施設です。今回は常設展示と企画展示「生活の向上を求めた小作農民と地主眞嶋桂次郎展ー史料でさぐる小作と地主それぞれの思いー」をガイド付きで見学しました。常設展示は2名のボランティアガイドさんに説明していただき、古代から現代にかけての北区の歴史をわかりやすく学ぶことができました。また、ガイドさんとの交流も楽しんでいました。企画展示では、地主眞嶋桂次郎に関する文書を中心に争議の実態や眞嶋の人物像などを学ぶことができました。特に、明治期の天皇北陸巡幸の際に眞嶋家が準備した白縮緬の敷物は、眞嶋家の財力をうかがい知ることができるとともに見応えがありました。

木崎小作争議について知識を蓄えた後には、無産農民学校の跡地や記念碑、小作人が警察と衝突をした鳥屋浦事件現場、久平橋事件現場などといった争議に関連する場所を巡りました。特に、鳥屋浦事件現場は現在田んぼ



新潟市文書館



北区郷土博物館



北区郷土博物館にて記念写真



鳥屋浦事件現場

の広がるのどかな場所ですが、事件の際には小作人約 600 人が警官隊と衝突し、逮捕者の中にはハサ木に縛り付けられた人もいたといえます。実際に現場をみることで、争議をリアルに感じることができました。

今回の見学会では、北区の歴史やその魅力を知ることができたとともに、歴史資料の重要性や資料の捉え方も学ぶことができたのではと思います。市内施設見学は、今後も続けていく予定です。

職員紹介



館長

さかい ひでや
坂井 秀弥

新潟市中央区出身

昭和 30 年、新潟市沼垂生まれ。高校の修学旅行で訪れた奈良の飛鳥に感動し関西の大学に進学。大学の研究会で発掘調査に参加し考古学にはまりました。新潟県で様々な遺跡調査を担当し、故郷の豊かな歴史を実感。「地域の文化財を慈しみわが町を育む」を信条に、地域史を大切に、さまざまな文化財を地域づくりに生かしたいと願っています。



企画普及課 総務担当次長

たかくわ かずよ
高桑 一代

新潟市中央区出身

4 月より総務担当次長として勤務しております。前職の新潟市役所勤務では新潟市の歴史に関わる仕事にあまり縁がありませんでした。これから大先輩であるボランティアの皆様から多くのことを教えていただき、来館者にみなとびあと歴史ある新潟の魅力をお伝えできるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。

【編集後記】

今年度上半期は例年より多くのイベントを開催することができました。特に、見学会は 3 年ぶりにバスを利用したイベントということで、多くの人にご参加いただきました。また、新人ボランティアさんも大変積極的に様々な活動にご参加いただいています。今後は、現役ボランティアさんと新人ボランティアさんの交流の場を設けていきたいとも思っております。しかし、この頃は新型コロナウイルス感染者の増加もあり、暑気払いを中止するなど未だ活動に影響が及んでいます。これまでどおり感染対策をとりつつ、安全にそして楽しくイベントを実施できたと思います。(鈴木)

2022.5月現在

みなとびあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこう!という事業です。

「みなとびあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただいています。

